

i 制度の概要

東京都内の民間美術館・博物館等が、**外国人旅行者の受入環境を整備**するための補助金制度です。多言語対応の強化、デジタル技術の活用、キャッシュレス決済の導入、バリアフリー化など、国際観光都市としての標準的なサービス導入を支援します。

令和7年度から令和11年度までの**5年間で合計1,000万円**まで申請可能で、各年度に分けて計画的な環境整備を進めることができます。展示解説の多言語化やデジタルサイネージ導入など、訪日観光客が快適に鑑賞できる施設づくりを推進します。ミュージアムショップ等の商品販売エリアは、**展示スペースに付随する場合のみ**補助対象となります。

🔊 支援内容

補助対象経費の**2分の1以内**を補助。1施設当たり**1,000万円**を上限とします。令和7年度から令和11年度までの**5か年の合計額**が上限に達するまで申請可能です。

最大1,000万円

補助率：1/2

🎯 対象となる取組

【多言語対応の改善・強化】

- ☐パンフレット・HP等の広報物の多言語化
- ☐音声ガイド機器の導入・更新
- ☐案内板・展示解説等の多言語化
- ☐多言語対応可能な職員・ボランティア育成

【情報通信技術の活用】

- ☐無線LAN環境の導入・更新
- ☐デジタルサイネージの導入・更新
- ☐通訳アプリの導入・更新
- ☐デジタルを活用した新たな鑑賞・展示方法

【その他の取組】

- ☐クレジットカード・電子マネー等決済機器
- ☐敷地内のバリアフリー化
- ☐避難経路の表示の多言語化
- ☐混雑状況表示システム・時間指定チケット

👥 対象者

- ☐ **登録博物館**：東京都教育委員会が登録した施設
- ☐ **指定施設**：東京都教育委員会が指定した施設
- ☐ **その他の施設**：年間100日以上開館し一般公衆に公開する都内施設

※民間事業者等が管理運営する施設に限ります。国・地方公共団体所有で民間委託の施設は対象外です。

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **外国人目線の具体性**：訪日観光客が実際に困る場面を想定し、**具体的な課題解決策**を提示することが重要です。
- ☐ **複数事業の組合せ**：多言語化とデジタル技術を組み合わせるなど、**相乗効果が見込める計画**が評価されます。
- ☐ **効果測定の明示**：外国人来館者数の増加目標や満足度調査など、**定量的な効果指標**を設定しましょう。
- ☐ **5か年計画の戦略性**：単年度ではなく、5年間を見据えた**段階的な環境整備計画**を示すと説得力が増します。

📊 戦略的分析

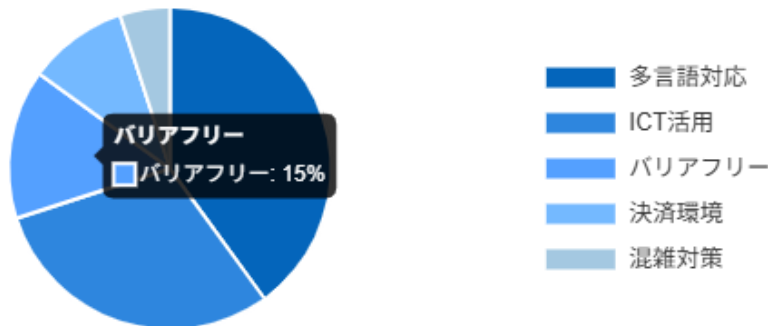
【インバウンド需要の回復局面】

- ☐ 訪日外国人観光客数は**コロナ前水準を超える勢い**で回復中です。
- ☐ 東京都は**2030年に3,000万人**の外国人旅行者受入を目標としています。
- ☐ 文化体験型観光への関心が高まり、**美術館・博物館の重要性**が増しています。

【複数年活用の戦略的メリット】

- ☐ **初年度**：多言語化とWi-Fi環境整備で基盤構築
- ☐ **2～3年目**：デジタルサイネージやAR技術の導入
- ☐ **4～5年目**：バリアフリー化や混雑対策の高度化

📊 補助対象事業の分布



最多申請カテゴリ：多言語対応が全体の約40%を占め、次いで情報通信技術の活用が30%です。

複合申請：複数カテゴリを組み合わせた申請が採択率向上につながる傾向があります。

🏢 対象施設の種類と活用例

施設タイプ	代表的な活用事例
美術館	音声ガイドアプリ多言語化、AR作品解説
歴史博物館	展示パネル5言語対応、デジタル年表
科学館	体験型展示の多言語ガイド、混雑表示
産業資料館	製造工程の多言語動画、VR体験導入
文学館	作品解説の英語化、電子決済導入

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/11/7作成】

提出書類	チェックポイント
交付申請書 (第1号様式)	<input type="checkbox"/> 施設の登録・指定状況 を正確に記載 <input type="checkbox"/> 補助金額の計算根拠を明確に
補助事業計画書 (別紙1)	<input type="checkbox"/> 外国人来館者の具体的課題 を明示 <input type="checkbox"/> 事業実施スケジュールの詳細
補助事業企画書 (別紙2)	<input type="checkbox"/> 費用対効果 を定量的に説明 <input type="checkbox"/> 見積書の添付（3社以上推奨）
誓約書 (第2号様式)	<input type="checkbox"/> 暴力団排除に関する誓約事項 <input type="checkbox"/> 代表者の自署・押印
その他添付資料	<input type="checkbox"/> 施設の登録証・指定証の写し <input type="checkbox"/> 施設パンフレット・現況写真 <input type="checkbox"/> 設備導入の見積書

📅 申請スケジュール

🕒 事前準備期間

GビズIDプライムアカウントの取得に1～2週間必要です。
見積書の取得や計画書作成に1～2ヶ月程度を見込みましょう。

🕒 申請受付期間

2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

郵送（簡易書留）またはjGrantsによる電子申請。
予算額に達した時点で受付終了となります。

🕒 審査・交付決定

申請後1～2ヶ月程度で審査結果通知
交付決定後に事業着手が可能です。

🕒 事業実施期間

交付決定日～2026年3月中旬
事業完了後、速やかに実績報告書を提出。

🕒 補助金交付

実績報告の審査後、確定通知を受けて請求書を提出。
交付は2026年3月末までを予定。

❓ 問い合わせ

制度詳細 <https://www.tcvb.or.jp/jp/project/infra/museum/>

申請システム (jGrants) <https://www.jgrants-portal.go.jp/>

事業全般 東京都 産業労働局 観光部 受入環境課
TEL：03-5320-4802

申請相談 （公財）東京観光財団 観光産業振興部
観光インフラ整備課
TEL：03-5579-8463
受付時間：9時～17時（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）